

青木繁が「海の幸」を描いた漁村

PR



【上】青木繁「海の幸」
（ブリヂストン美術館蔵）
【下】青木繁「海の幸」
記念館・小谷家住宅



西洋画として日本で最初の重要文化財に指定された「海の幸」は青木繁・22歳の作。房州布良（めら）の

アサココスタディ
日帰り
バスツアー

3月6日（水）
南房総・館山布良

漁師頭・小谷喜録宅に滞在して描いた。この小谷家は、明治20年代の漁村を代表する建造物として館山市有形文化財に指定され、現在は青木繁記念館として、公開されている。築130年の「小谷家」の和風建築を訪ね、春の房州路へ。

■3月6日（水曜日）。参加費1万2000円（バス代・昼食代など）。20人（最少催行16人）。集合Ⅱ 京王線高幡不動駅 6時20分、国立駅南口 6時50分。安房自然村、小谷家住宅、圓光寺・波の伊八欄間彫刻などを訪ねる。

企画主催：アサココ。
手配旅行社：（株）NK
トレベル。申し込みは
042-505-6905。
042-505-6904